

### FISUワールドカップ ボクシング57kg級

# 原田 銅メダル



準決勝でトルコ代表選手と対戦する原田

国際大学スポーツ連盟(FISU)が主催する格闘技の世界大会「FISUワールドカップ・コンバットスポーツ」(旧世界大学選手権)が9月22日から10月2日まで、トルコで開催され、ボクシング競技の男子57kg級でボクシング部の原田周大(法3・豊国学園高)が、銅メダルを獲得した。

優勝を目標に強化合宿でフィジカル強化に取り組んだという原田。「海外の選手相手にも当たり負けすることがなかった。戦い方次第で勝てると感じた」と手応えを口にした。「この結果を今後の糧にしたい。全日本連覇、来年のオリンピック予選や世界選手権に向けてキャリアを積んで、勝てる選手になりたい」と目標を語った。(山縣龍人・法3)

## 野々村 2種目制覇 1000点 1500点

### 国内開幕戦 最高の滑り出し

全日本スピードスケート距離別選手権大会 10月21〜23日、長野市・エムウェーブ



今シーズンの国内開幕戦で、野々村太陽(経営1・白樺学園高)が男子1000点と同様に初優勝を果

2日目の1500点を1分45秒73で制した野々村。最終日の1000点では、中盤から徐々にスピードアップすると、終盤に一気にギアを上げ、1分8秒65でゴールした。野々村は「トップクラスの選手たちと戦っていきけるように頑張りたい」と今季の目標を語った。(小田島美玖・文2)

### 実力を発揮したローラースケート部



## 女子総合 インカレ連覇

全日本学生ローラースケート選手権大会 10月8〜22日、江戸川区・水辺のスポーツガーデン

女子がスピード部門で1位、ホッケード部門で3位となり、総合優勝。インカレ連覇を達成した。

男子も同じくスピード部門で1位、ホッケード部門で3位となったが、総合は準優勝に終わった。

### 男子総合は準優勝

女子スピード部門の200点タイムレースは、高萩嬉ら(文4・光丘高)が1位、高萩紗ら(文2・光丘高)が2位と、昨年と同じく高萩姉妹がワンツーフイニッシュ。高萩嬉らはタイムレース4連覇を飾った。1600点リレーでも南澤奈穂(文1)も同じくスピード部門で1位、ホッケード部門で3位となったが、総合は準優勝に終わった。

## 女子S 出澤 惜しくも準優勝

### 女子D 大島・永道ペア ベスト4

全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部) 10月20〜23日、滋賀県・YMITアリーナ

女子シングルスで出澤杏佳(文2・大成女子高)が決勝に進出したが、3-4と惜敗し準優勝。ダブルスでは大島奈々(文4・愛知みずほ大瑞穂高)・永道麻依加(文4・希望が丘高)ペアがベスト4となった。

### 団体ベスト8

全日本学生剣道優勝大会 10月30日、大阪市・エディオンアリーナ大阪

北海道教育大、大東大を破り、3回戦でベスト8入りをかけて駒大と対戦した。1-1で代表戦にもつれ込んだが、主将の櫻井隆登(経営4・東海大付熊本星翔高)が決勝で近大に敗れたものの、ベスト8入りした。

## 55kg級 岡本が初優勝

全日本大学レスリング・スタイル選手権大会 10月19〜20日、世田谷区・駒沢総合体育館

55kg級で岡本景虎(経営4・和歌山北高)が初優勝を挙げた。この大会での専大勢の優勝は5年連続となった。岡本は12月の日本選手権の出場権を得ることに努

## 健闘6位

全日本大学ゴルフ選手権競技 10月25〜28日、石川県・片山津ゴルフ倶楽部



初開催の大会で、専大が6位となった。予選を勝ち抜いた全国の24大学が、4日間の合計スコアを競った。専大は、福住修(経営2・明德義塾高)らが健闘し、上位16校による決勝ラウンドへ。決勝では小田祥平(文1・開志国際高)の活躍が光った。

## 果敢に挑みベスト4



水球日本一を決める舞台に出場した専大は、初戦でインターハイ優勝校の明大中野高に快勝。準決勝で3連覇中の王者、IKAI Kingfisher 74に敗れたものの、ベスト4に輝いた。

準決勝は序盤に4失点するも、小見晴人(商4・秀明英光高)がシュートを決め、この試合初得点。その後も浦至児(経営4・金沢市立工高)らが得点を奪うなど、果敢に立ち向かったが力及ばなかった。(山縣)

### 記録コーナー

▽バレーボール部  
▽秋季関東大学リーグ戦(9月3日〜10月22日)  
6勝5敗11位【サブ賞】甲斐孝太郎(文3・日南振徳高)【ブロック賞】千葉貴世(経済1・東北高)  
▽関東学生選手権大会(10月11〜21日)【男子エペ団体】3位【女子エペ団体】3位【女子エペ個人】成田琉夏(文4・聖霊女子短大付高) 113位



笑顔の大島、出澤、永道(左から)